

プロジェクトマネジメント学会四国支部総会・年次研究大会開催報告

富山博文
株式会社 STNet

Report of the Symposium 2026 Shikoku Branch of the Society of Project Management

Hirofumi Tomiyama
STNet, Incorporated

1. 四国支部総会

プロジェクトマネジメント学会四国支部では、2026年2月13日（金）、オンラインにて四国支部総会を開催して、2026年度の役員体制、2025年度事業報告および、2026年度事業計画を審議し、承認されました。

2. 四国支部年次研究大会

日時：2026年2月13日（金）

開催方法：オンライン

後援：特定非営利活動法人 IT コーディネータ協会

年次研究大会には、去年に引き続き、お茶の水女子大学特任講師の大崎章弘氏をお招きし、基調講演をいただきました。

また、会員から1件の研究発表がありました。

基調講演：

「先端技術による探究的な学びを支える教具・教材のデザインと社会実装」

大崎章弘氏（お茶の水女子大学特任講師）

教育現場を取り巻く最新動向と探究的な学びを支える教具・教材の導入を阻む制約条件を整理した上で、大崎氏が東京都内の教育委員会等と連携して進めている探究的な学びを支援する先進的な教具・教材の事例を紹介し、導入・運用を成功させるための要点を紹介していただきました。講演後は、質疑応答が行われ、複線型授業に関する質問があり、大崎氏から「複線型授業をしないといけない流れで走っている。教育のやり方そのものの考え方のターニングポイントである」などご回答を頂きました。



大崎氏による基調講演

発表1：

「STNetにおけるDXの取り組み ～データ主権を守るハイブリッドクラウドと生成AIの実践～」

西山賢氏（株式会社STNet 経営企画室 新規事業開発部）

自社データセンターの堅牢性とパブリッククラウドの先進性を融合した「ハイブリッドクラウド」によるデータ分析基盤構築と、アジャイル手法を取り入れたデータ分析人材育成の事例を紹介。さらに、完全社内完結型でコストを抑制した「プライベート型AI基盤」の構築と、AIエージェントによる業務変革への取り組みについて紹介していただきました。



西山氏による発表

3. 今年度の活動予定

本年度も IT コーディネータ協会などの団体や他学会との交流を通し、プロジェクトマネジメント力向上に取り組むたいと考えています。

活動日程

2月13日：四国支部総会および年次研究大会

6月，10月：四国支部研究会

4. お礼

最後になりましたが、年次研究大会の運営に関し、本部の方々には、多大なご支援をいただきました。厚くお礼申し上げます。

【四国支部問合せ先】

PM 学会四国支部事務局

Email: spm_shikoku@spm.or.jp

HP: <https://spm.or.jp/committee/shikoku/>